



【第一興商×ツクイ】 「認知機能低下予防・BPSD症状軽減に関する調査研究」 第2弾結果発表

株式会社第一興商（東京都品川区 代表取締役社長 保志 忠郊 以下、第一興商）と、株式会社ツクイ（神奈川県横浜市港南区 代表取締役社長 津久井 宏 以下、ツクイ）は、ツクイが運営するデイサービスにおいて、認知機能の低下予防およびBPSD（認知症による行動や心理の症状）軽減を支援するプログラムの構築を目指し、第2弾となる共同研究調査を2017年6月26日から2018年11月30日まで実施しました。

2016年9月から2017年3月にかけて実施した第1弾の調査研究では、生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」を用いた認知機能低下予防・BPSD 軽減プログラムにツクイのデイサービス利用者が参加することにより、認知機能が改善する傾向が示されました。そして、今回行った第2弾の調査研究では、第1弾の調査研究結果を踏まえて、プログラムの実施回数を週に1回から毎日に増やし、うたと音楽を活用したプログラムの介入頻度が参加者の症状の改善に与える影響について検証しました。

【「認知機能低下予防・BPSD症状軽減に関する調査研究」結果】

効果	「DKエルダーシステム」を用いた認知機能低下予防・BPSD軽減プログラムの参加頻度が多いほど認知機能の改善および、BPSDの症状が抑えられる効果が示唆された。また、認知症による行動障害や心理症状が軽減する効果も認められた。
実行可能性	全員参加ができ、実効性が高いプログラムであった。プログラム参加者へのアンケートや家族の観察記録の結果をみると、「活動に積極的になった」「食事がよく食べられるようになった」「歩行が安定し転倒も減った」「夜によく眠れるようになった」と、参加者本人や家族が効果を実感し、満足度が高いことがうかがえた。
今後の展望	プログラムへの参加回数をより多く設けることで、さらなる介入効果が期待されることが示された。また、効果指標以外に参加者自身の積極性、笑顔、集中力が上がり、新たなことへ取り組む意欲にも自然につながる効果も期待できる。

ツクイと第一興商は、継続的な研究を実施し、双方の持つインフラやノウハウを相互活用することで、これらの課題解決を求められる認知症の方のケアに関して新たな支援施策を提案し、他の地域ならびに介護施設における支援方法のロールモデルとなることを目指します。

■「DKエルダーシステム」

ツクイのデイサービスをはじめ、全国の高齢者向け施設など24,000カ所以上（2019年2月末現在）に導入されており、音楽を使う、体を使う、目で観るといったプログラムの提供を通じて高齢者の心と体を元気にすることができる介護予防・健康増進コンテンツ配信システムです。「運動・口腔・認知」など、総合的な生活機能の維持・向上の効果が認められています。



生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」
FREE DAM HD

NEWS RELEASE
■第2弾調査研究概要

- 調査期間 : 2017年6月26日～2018年11月30日
- 実施内容 : 第一興商エルダーシステムコンテンツをベースに認知症予防プログラムを作成し、介入群^{※1}の施設利用者に対して、1回60分×3カ月間のプログラムを調査期間中に実施。コントロール群^{※2}の施設利用者においては、ツクイが実施する通常のデイサービスプログラムを実施。
- 測定・効果検証 : 事前・事後（3か月後、6か月後）にその効果測定を検証・分析。
 データ収集は、面接法ならびに記入式質問票を使用。
 対象者は、3施設から介入群63名、5施設からコントロール群58名。
- 実施施設 : 【介入群】
 ツクイ山科勸修寺（京都府京都市山科区勸修寺泉玉町2）
 ツクイ茨木太田（大阪府茨木市太田2-5-14）
 ツクイ福岡（福岡県福岡市南区向野2-6-5）
- 【コントロール群】
 ツクイ小田原鴨宮（神奈川県小田原市下堀109-3）
 ツクイヤマト（神奈川県大和市上草柳1-7-24）
 ツクイ枚方大垣内（大阪府枚方市大垣内町3-16-5）
 ツクイ天理別所（奈良県天理市別所町16）
 ツクイ鹿児島宇宿（鹿児島県鹿児島市宇宿8-13-22）

※1 介入群：エルダーシステムコンテンツをベースにした認知症予防プログラムを受けるグループ

※2 コントロール群：エルダーシステムコンテンツをベースにした認知症予防プログラムを受けないグループ